

法人名	株式会社 ベネッセスタイルケア
施設名	ベネッセ日吉保育園

発表者名 (職名)	中野 大輔 (保育士)	住所	横浜市港北区日吉4-1-1 慶應義塾日吉キャンパス協生館1階		
発表者名 (職名)		TEL	045-560-6506	FAX	045-560-6507
発表者名 (職名)		メールアドレス	y-ito.hiyoshi@benesse-style-care.co.jp		
		URL			
		定員	82	職員数	34

発表の概要・内容

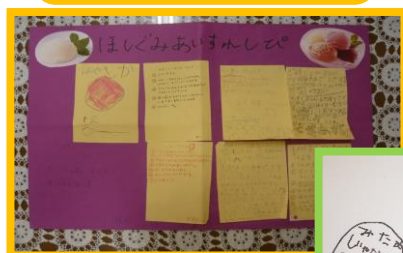
きっかけは「本物のアイスが保育園で食べたいなあー」という子どものつぶやきでした。

普段の遊びの中で楽しんでいた【アイス屋さんごっこ】。子どもたちの会話の中でもアイス屋さんごっこの話題が盛り上がり、自分の好きなアイスの味や、家族とアイス屋さんに行った時の話も出てきました。すると、「保育園でアイスが食べたいなあ～」「クッキングで作ればいいんじゃない？」と子どもたちの新たなつぶやきが聞こえてきました。

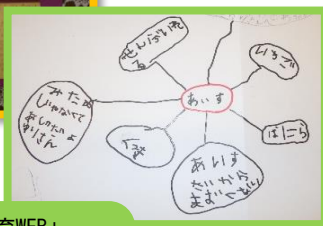
しかし、コロナ禍のため、クッキングの活動は大幅に規制されており、「果たして実現できるだろうか…」と担任は悩みました。「子どもたちの思いを実現させてあげたい！」という思いとは裏腹に、「子どもは調理に参加できない」という壁が立ちふさがりました。

調理職員との話し合いを経て、「大人が調理をすれば、子どもたちがアイスを食べることが出来る」という案が持ち上がり、そこから子どもたち、保護者の方を巻き込んだ「本物のアイスづくり」プロジェクトがスタートしました！

保護者から募集したレシピ



子どもたちが書いた「保育WEB」



感染対策をした上で、材料の買い物に出かけました

コロナ禍での保育は前例のない中で試行錯誤の連続です。「規制」や「出来なくなったこと」に大人は目が行きがちですが、子どもたちは「工夫すればできる！」といつも前向きでした。

保護者を巻き込んだレシピ集めや、保育WEBを活用した子ども同士の話し合い、材料の買い物を通してSDGsの考えに気づくなど、様々な経験を重ねていく子どもたち。

そんな子どもたちの「つぶやき」を汲み取りながら「本物のアイスを食べたい！」という目標に向かうプロセスを、ご紹介したいと思います。

メモ